

(学校用)

様式 A-1

平成 26 年 1 月 17 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山梨県立吉田高等学校 萱沼徳重
2. 講師氏名: Dr. Paulina Maria NEISCH
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 26 年 1 月 16 日 (木) 13:55 ~ 15:35
5. 参加生徒: __年生 __人、 2年生 38人、 __年生 __人 (合計 38人)
備考: (例:理数科の生徒) 理数科2年生の生徒
6. 講演題目: (英文) Creating Human-Friendly Environments: Between Architecture and the Social Science
(和文) 人に優しい環境作り ~建築学と社会科学の観点から
7. 講演概要:

最初に講演を行った。内容は、日本の街が「子どもに優しい環境」であることを、建築学の理論や実際の調査結果を交えながら説明するというもの。

引き続き、対象が高校生ということで、「10代の若者に優しい環境」としての街作りや、10代の若者から見る街の姿を、実際に立体的な地図を作る作業をしながら、発表しあうというワークショップを行った。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 15 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターを使用した授業及び実習
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
英語担当教諭による日本語説明を補助的に行った
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
特になし

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
特になし

11. その他特筆すべき事項:
特になし